

商品名 チザニジン錠1mg「アメル」 医薬品基本情報

薬効	1249 その他の鎮けい剤	一般名	チザニジン塩酸塩1mg錠
英名	Tizanidine AMEL	剤型	錠
薬価	6.10	規格	1mg 1錠
メーカー	共和薬品	毒劇区分	

チザニジン錠1mg「アメル」の効能・効果

(腰痛症、頸肩腕症候群)の筋緊張状態の改善、(筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、脊髄損傷後遺症、多発性硬化症、頭部外傷後遺症、脳血管障害、脳性＜小児＞麻痺、頸部脊椎症、外傷後遺症、痙性脊髄麻痺)の痙性麻痺

チザニジン錠1mg「アメル」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、フルボキサミン投与中、シプロフロキサシン投与中、重篤な肝障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 降圧剤併用	記載場所	重大な副作用
	注意レベル	注意
3. 腎機能障害、肝障害＜重篤な肝障害を除く＞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

チザニジン錠1mg「アメル」の副作用等

1. ショック、血圧低下、徐脈、顔面蒼白、冷汗、呼吸困難、意識消失、急激な血圧低下、心不全、心拡大、肺水腫、呼吸障害、喘鳴、喘息発作、著しいAST上昇、著しいALT上昇、悪心、嘔吐、食欲不振、全身けん怠感、肝炎、肝機能障害、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 失神、幻覚、錯乱、過敏症、血管性浮腫、眼瞼下垂	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 血圧低下、眠気、頭痛、頭重感、めまい、回転性めまい、浮動性めまい、ふらつき、口渇、悪心、食欲不振、胃部不快感、腹痛、下痢、AST上昇、ALT上昇、発疹、皮膚そう痒感、脱力感、けん怠感	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満

4. 徐脈、動悸、知覚異常、しびれ感、構音障害、ろれつがまわらない、不眠、胃もたれ、便秘、口内炎、舌あれ、口中苦味感、流涎、ALP上昇、蕁麻疹、紅斑、浮腫、尿閉、霧視	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
5. 奇形、脳ヘルニア、小眼球、胎仔重量低下、化骨遅延、出生死死亡、血圧低下、悪心、嘔吐、徐脈、QT延長、めまい、縮瞳、呼吸窮迫、不穏、傾眠、昏睡、精神依存	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

チザニジン錠1mg「アメル」の相互作用

1. 薬剤名等：フルボキサミン			
発現事象	本剤の血中濃度が上昇しAUCが33倍に上昇、傾眠、精神運動能力の低下、著しい血圧低下、めまい	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を阻害	指示	禁止
2. 薬剤名等：シプロフロキサシン			
発現事象	本剤の血中濃度が上昇しAUCが10倍に上昇、傾眠、精神運動能力の低下、著しい血圧低下、めまい	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を阻害	指示	禁止
3. 薬剤名等：肝代謝酵素チトクロームP4501A2の活性に影響を与える薬剤			
発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	本剤は主として肝代謝酵素チトクロームP450（CYP）1A2で代謝	指示	注意
4. 薬剤名等：CYP1A2を阻害する薬剤			
発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意
5. 薬剤名等：降圧剤			
発現事象	徐脈、低血圧	投与条件	-
理由・原因	本剤の中枢性 α 2刺激作用により降圧作用が増強	指示	注意
6. 薬剤名等：中枢神経抑制剤			
発現事象	眠気等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	いずれも中枢神経抑制作用を有する	指示	注意
7. 薬剤名等：アルコール			
発現事象	眠気等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	いずれも中枢神経抑制作用を有する	指示	注意

8. 薬剤名等：アミオダロン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を阻害	指示	注意

9. 薬剤名等：メキシレチン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を阻害	指示	注意

10. 薬剤名等：プロパフェノン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を阻害	指示	注意

11. 薬剤名等：シメチジン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を阻害	指示	注意

12. 薬剤名等：ニューキノロン系抗菌剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を阻害	指示	注意

13. 薬剤名等：黄体・卵胞ホルモン剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を阻害	指示	注意

14. 薬剤名等：チクロピジン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を阻害	指示	注意

15. 薬剤名等：CYP1A2を誘導する薬剤

発現事象	本剤の血中濃度が低下し本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を誘導	指示	注意

16. 薬剤名等：喫煙

発現事象	本剤の血中濃度が低下し本剤の作用が減弱、男性喫煙者10本／日超に本剤を投与したことにより本剤のAUC約30％減少	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤がCYP1A2を誘導	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.